

資金循環統計にみるアメリカの国際経済関係

小西宏美（駒澤大学）

報告要旨

リーマンショック後、アメリカや世界の経常収支のインバランスは対 GDP 比で減少傾向にあるが、対外純資産・負債のインバランスやグロスの対外債権債務は増加していると指摘されている。(P.O. Gourinchas and H. Rey (2013) , G. Adler and D. Garcia-Macia (2018), IMF (2021)) 経常収支インバランスより資産価格の変化が重要になりつつあるという議論を反映していると言える。これまで経常収支のインバランスを議論する際には、国際収支や対外資産・負債残高統計が使われることが大半であった。本研究ではアメリカの資金循環統計 (FFA) を見ることでアメリカの金融市場全体における外国の位置づけを考察する。